

やさかだより 3 No. 115

八坂地域づくり協議会

<https://www.shinshu-yasaka.com>

2026年(令和8年)3月1日



第6回「私の八坂」フォトコンテスト 最優秀賞「八坂の美瑛」倉嶋知寛さん

優秀賞 静寂



優秀賞 アキツと月



第6回「わたしの八坂」フォトコンテストに審査が行われ最優秀賞は倉嶋知寛さんの「八坂の美瑛」が受賞しました。(関連記事は4ページ)

優秀賞 雲海とだるま SUN



優秀賞 雲海の荒波



優秀賞 最後に残ったお団子



3月号の記事

- 八坂地域づくり協議会の活動から.....2
- 地域活動から.....3
- コミュニティ・スクール.....4
- 八坂小中学校/たけのこ保育園.....5

- 育てる会.....6
- 八坂公民館.....7
- 編集委員任期を終えて.....8

八坂地区の人口:670人(男340人・女330人) 八坂地区の世帯:343世帯 (令和8年2月1日現在)

地域づくり協議会の活動から

期日	区分	内容等
1/13	やさかだより編集会議	・2月号外及び3月号の発行及び記事について
2/4	市民と議会の意見交換会	・地域の課題等について
2/15	定住促進事業～移住者交流会	・ジビエ料理講習会

2月4日 市民と議会の意見交換会、開催



2月4日(水)八坂支所3階集會室で午後6時から「市民と議会の意見交換会」が開催されました。八坂地域づくり協議会の役員と元協議会長をはじめとする地域の方々総勢15名が参加し大町市議の方々と意見交換を行いました。保育所再編や定住促進住宅等の問題で地域の方のお考えをしっかりとお伝えしていただきました。

定住促進事業～移住者交流会(ジビエ料理講習会)



2月15日(日)八坂支所調理室で移住者交流会として美麻の農園カフェラビットの児玉信子先生による料理講習会を開催し「フグー・アツラ・ポロネーゼ」と「キャロットケーキ」を皆さんに教えていただきました。

昨年までは男女共同参画のイベントで開催していましたが、移住者交流で企画した野平ラバンダー祭での体験ツアーが中止となったことから今年は移住者交流会の一環として企画しました。13名の参加者は3班に分かれ先生に教わりながら調理に取り組みました。各班の味が微妙に違い食べ比べをしましたが、どの料理の出来栄えもおいしく、つい食べ過ぎてしまったとの声も聞かれ、大満足でお話も弾み和やかなひと時を過ごすことができました。

地域の行事から

切久保地区の鳥追い行事

1月18日(日)の夜明け前、子供たちは羽子板をたたき、鳥追いの歌を唱和しながら集落内の各家を巡りました。例年この時期は1年のうち最も積雪が多い時期なのですが、今年はほとんどありません。しかし真っ暗で厳しい寒さは変わらず。さらに小雪も舞っている中、傍から見れば大変そうに見えるのですが、子供たちは案外楽しそうにやっています。子供たちは案外楽しそうに年玉が入った袋を携えて、懐中電灯の明かりを頼りに次のお宅へと・・・**カンカン♪**

切久保自治振興会 立花康一



児童民生委員決定 よろしくお祈いします

役職	地区名	氏名	新/継
会長	切久保	田中 照幸	継続
副会長	野平	吉家 真由美	継続
委員	大平(1)	秋谷 繁雄	継続
〃	大平(2)	越山 英利	継続
〃	石原	北澤 恵津子	継続
〃	中央	鳥屋 秀子	新規
〃	舟場	坂井 静子	新規
主任児童民生委員	全地区	塚田 睦子	継続

民生児童委員の一斉改選が行われ、厚生労働大臣からの委嘱状と大田市福祉委員の委嘱状が、2月12日(木)に渡されました。任期は令和10年11月30日までの3年間で、今後地域の福祉推進のためご活躍いただきます。高齢者・障がい者の福祉、介護保険、医療、住居、生活費、家族関係、子育て、福祉に関する日常的な支援などの問題でお困りの方は、お気軽にご相談ください。今回、選任された八坂地区の民生児童委員の皆様は、次の方々です。(敬称略)
なお、今回の一斉改選により退任された民生委員は、松井一美さん(中央)、今溝敬子さん(舟場)の2名です。長い間、大変お世話になりました。

八坂診療所でトリアージ訓練



災害に備えトリアージ訓練を八坂診療所で1月26日(月)に行いました。トリアージとは、地震や水害などの災害時に、多くのけが人が同時に発生し、医療の手が足りなくなつた場合に、限られた医療資源を有効に使い、できるだけ多くの命を守るために治療の優先度を判断する取り組みです。今回は、近くで土砂崩れが起き4人の傷病者が同時に運ばれてきたという想定で、まず大まかな重症度を見極める一次トリアージを行いました。



診療所スタッフだけでなく、八坂小中学校の養護教諭や支所職員の方にもご協力いただき、実際の災害に近い形で訓練を行うことができました。日常では経験しにくい状況だからこそ、チームで連携する大切さと今後の課題が明らかになりました。

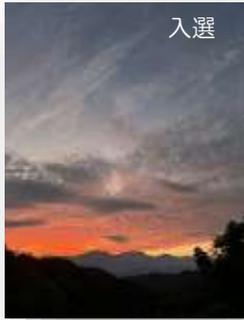
今後定期的な訓練を重ね、いざという時に備えていきます。

八坂診療所
医師 田川哲也

第6回「わたしの八坂」フォトコンテスト最優秀賞他、各賞決定

オレンジファンタジック♡

※最優秀賞、優秀賞は表紙に掲載しました。



夕闇に映えるどんどやき



八坂雲海～朝陽とともに～



八坂色の空と満月



賞	受賞者氏名	受賞作品名
最優秀賞	倉嶋知寛	八坂の美瑛
優秀賞	小野翼	雲海の荒波
優秀賞	上條貴久	雲海とだるま SUN
優秀賞	古平萌	静寂
優秀賞	曾根原崇	アキツと月
優秀賞	上條貴久	最後に残ったお団子
入選	小河裕子	小さな守り神
入選	小野和歌子	八坂色の空と満月
入選	北澤幸祐	犀川
入選	小野翼	オレンジファンタジック♡
入選	小野翼	朝陽と雲海
入選	吉田敏之	夕闇に映えるどんどやき
入選	大日方寿二	八坂雲海～朝陽とともに～
入選	市河千春	ひっそり芸術祭
入選	渡邊剣太郎	鷹狩
八坂小中学校長賞	大日方寿二	切久保～雲海と棚田～
八坂地域振興支援員賞	小野寺嶺	八坂の文化
八坂小中学校生徒会長賞	小河裕子	月待つ東屋

地域振興支援員賞

八坂の文化

朝陽と雲海



犀川



鷹狩



ひっそり芸術祭



小さな守り神



小中学校長賞

切久保～雲海と棚田～

月待つ東屋

生徒会長賞



1月29日(木)第6回「わたしの八坂」フォトコンテストの審査があり、上記の表に決定しました。力作ぞろいで難しい審査でしたが何とか決定しました。最優秀賞には倉嶋知寛さんの「八坂の美瑛」が選出されました。
今後フォトアルバムを作成しますので、そちらでじっくりご覧下さい。また、八坂地域づくり協議会ホームページで随時紹介していきますので、こちらもご覧ください。

八坂小中学校～前期課程・後期課程の活動から

『やさか人間塾』今年度のまとめ

本年度の「やさか人間塾」は、地域の皆さまに温かく支えていただき、一年間の活動を積み重ねてきました。多くのご協力と励ましのお言葉をいただき、生徒たちは安心して、自分たちらしく挑戦を続けることができました。心よりの感謝申し上げます。

その感謝の気持ちと成果をお伝えするため、三回にわたり発表の機会を設けました。

1月31日(土)の参観日に「人間塾まとめの会」として、地域・保護者の皆さまに向けたポスターセッションを行いました。

2月6日(金)には「やさかフェ」を開催しました。お世話になった地域の皆さまへ感謝を伝える会として、歌の披露や成果発表を行い、一緒におやきを作り、よもぎだんごなどをふるまいました。

2月10日(火)には、市役所にて「行政へのポスターセッション」を行いました。一年間のまとめとして行政の皆さまに成果を報告しました。



授業参観

1月31日(土)に、本年度最後の授業参観を行いました。一年間のまとめとしてこれまで学んだことを発表したり、手作りのお菓子を販売したりする学年もありました。



スキー教室

2月6日(金)には、爺ガ岳スキー場にて、スキー教室を行いました。初めてスキーに挑戦したお子さんもいましたが、インストラクターやボランティアの皆様の丁寧な指導、ご支援のおかげで、楽しく安全に滑ることができました。本当にありがとうございました。



たけのこ保育園 節分豆まき

立春を迎えましたが、まだまだ寒い日が続きますが、2月2日の節分にちなみ、園でも豆まき会(鬼退治)を行いました。

園庭では、子どもたちの元気な「鬼は外! 福は内!」の声が響き渡っています。「泣き虫鬼をやっつける!」と意気込んで、新聞紙で作った豆を手に、勇氣いっぱい鬼に向かっていきましました。カラフルな個性的な鬼のお面をかぶったチビっ子鬼たちが、元気に走り回りました。

伝統的な行事を通じて、子どもたちも季節の変わり目を感じ、健康に過ごせるよう願っています。寒さに負けず、園内で明るい声を響かせる子どもたちです。皆様にもたくさんの「福」が訪れますよう、お祈り申し上げます。



1月24日、八坂美麻学園 50周年記念のつどい開催



- ・オープニング
山村留学生の民舞
- ・上映
50年の足跡をたどる
ひとことメッセージ
感謝状贈呈
未来に向けた
トークセッション
- ・エンディング
山村留学生の和太鼓



1月24日(土)、大町文化会館にて八坂美麻学園50周年記念のつどいを行いました。

記念すべき50周年を祝おうと、多くの修園生や保護者等、300人を超える関係者が集まりました。

第1部は、50年を振り返るスライド写真や、関係者からのメッセージ上映、未来に向けたトークセッション、お世話になった方々への感謝状贈呈を行いました。つどいの初めと終わりには現役生による演目発表も行い、会場は大きな拍手に包まれました。

第2部の懇親交流会では、世代を超えて、修園生や現役生、また、地域の方々との語り合っ場となりました。ここでも現役生が演目を披露しました。また、翌日には修園生企画として演目の交流会やそば打ち体験も実施しました。

改めて50年分の繋がりへの広さと深さを実感。この繋がりを大切に、地域の方々のお力をいただきながら八坂美麻学園を持続可能な形にしていけたらと思います。ご出席していただいた方々、ありがとうございました。これからもどうぞよろしく願っています。

八坂公民館の活動

竹細工学習会



八坂公民館・美麻公民館・育てる会 合同アルペンスキーの集い

八坂公民館・美麻公民館・育てる会合同アルペンスキーの集いを開催し、八坂小中学生、美麻小中学生、山村留學生が交流をしました。

1回目は2月2日(月)に鹿島槍スキー場、2回目は2月11日(水)に爺力岳スキー場で、スキーレベルに応じて班編成を行い講師の指導の下、スキー技術の向上と仲間づくりの輪を広げました。

2回目の午後は、スキーの上達具合を確認するため、タイム計測や設定タイムでの滑降など記録会を行いました。雪の降りしきる場面もありました。概ね天候にも恵まれ、子どもたちは楽しいひと時を過ごしました。

令和3年から4年間『八坂塾』として、八坂産の竹を活用した『かご作り』を公民館の講座として行ってきました。その中で、当初からの受講生が「一人で作っていても分からない、皆さんとやりたい」との声が多く、今年からサークルに向けての『竹細工学習会』として11月より月2回開催しています。参加者を募集したところ、12名の方が参加して、以前から『竹かご』を作っていた人達が、講師をしながら皆さんで学びながら『竹かご』作りを行っています。



「食を楽しむ会」 会員大募集 !!

会長:北澤三恵子

私たち「食を楽しむ会」は、地区の行事のお手伝いをしています。

「食を楽しむ会」の前身は、「全国食生活改善推進連絡協議会(以下食改と省略)」の「八坂地区会」という団体でした。

地元食材を使用して、八坂地区関連行事と連携してお料理を提供しています。八坂地域食や食生活について学んだりしながら楽しく語らう場でもあります。

食は生きる源です!! 地域の方々に一緒に「美味しい」を届けてみませんか?

9月下旬敬老会〈お赤飯と漬物〉・10月下旬八坂地区文化祭〈すいとん〉

1月上旬かるたもちつき大会〈お雑煮〉

☆お仕事やご家庭の都合に合わせていただいてもかまいません

☆お料理未経験でも大歓迎

☆お子さんと一緒に参加もOK

※行事の前日に下ごしらえのために招集する場合があります

皆様のお力添え、お待ちしております!!

お申込み、問い合わせは

mail: hanamama247@icloud.com 仁科 知加



編集委員2年任期を終えて～皆様2年間ありがとうございました

編集委員の任期を終えるにあたり、2年間支えてくださった皆様、心より感謝申し上げます。取材や編集を通して出会ったのは、日々の暮らしを大切に、互いを気にかけて合う温かな姿でした。行事の準備や声かけ、さりげない助け合いの中に、皆さんの幸せを願う気持ちが確かにあり、その積み重ねが地域を支えていると感じました。ピンチはチャンス。課題があっても、繋がりがあれば前へ進めます。紙面が「話すきっかけ」になり、安心や笑顔につながっていたなら嬉しいです。

中央自治振興会 編集委員 遠藤由章

相川に引越して3年、いつも楽しみに読んでいた「やさかだより」の編集に参加する機会をいただきました。編集委員を名乗るには力不足で、地区の皆さん・支所の担当の方々に色々助けていただきました。地区の祭礼や行事の歴史とそれぞれの意味についてたくさんのお話を聞き、引き継いでいくことの大切さと大変さを身をもって感じた2年間でした。この場をお借りしてお礼申し上げます。大平地区恒例の楽しそうなバスツアーは2回とも仕事で参加できず、記事として掲載することができなかつたなど心残りがありますが、何とか2年間勤め上げることができて安堵しています。この編集後記が私たちの編集委員としての最後の仕事になります。私の拙い原稿にも暖かい感想を寄せていただき、ありがとうございます。新年度からは新しい編集委員会に交代します。原稿書きや誌面づくりに尽力されている方々にも想いを馳せながら、これからも「やさかだより」を楽しみにしたいと思います。

大平自治振興会 編集委員 金子しげみ

2年間取材に協力してくださった地域の皆様、本当にありがとうございました。昨年、野平地区では熊による人身被害という悲惨な事件がありました。それに加えてラベンダーまつりが中止となり、八坂小中学校後期課程の生徒さんへの協力体制も叶われないなか、ラベンダー園の整備は粛々と続けてきました。令和8年は生徒さんに協力できたらいいなと思います。私事ですが、仲間たちと行う恒例のニジマスつかみ取り大会を開催が危ぶまれる中、様々な検討を経て何とか開催できたこと、どんと焼きなどの行事に山留生の協力してくれている事など紹介できてよかったです。これからは一読者として楽しみみたいと思います。

野平自治振興会 編集委員 寺島長一

前任の方からの引き継ぎで1年間、編集委員を務めさせていただきました。この1年を振り返ると、例年になく自然の厳しさを肌で感じる毎日でした。

鹿や猪、そして熊の出没が相次ぎ、家庭菜園の被害やダニの付着、子供のバス停送迎など、「田舎の不便さ」を楽しむ余裕がなくなるほどでした。本来なら交通事故や犯罪の心配がなく、子供たちがのびのび遊べる環境であるはずが、獣への恐怖で外遊びができなくなったことは残念でなりません。また、八坂を震源とする地震もあり、災害への備えをより一層痛感した年でもありました。

しかし、そうした厳しさの中で、工芸品作成などの交流会を通じて触れた地域の皆様の温かさ、何よりの救いでした。自然との共生は容易ではありませんが、今後はこの八坂の地に、明るく希望に満ちたニューズがたくさん届くことを心より願っています。短い間でしたが、ありがとうございました。

舟場自治振興会 編集委員 佐藤裕紀

編集委員長二期目の任期が終わります。一昨年の春、新しく集まった各地区の編集委員の中で、私が一番の古株だったことから、再び委員長に選出されました。思い返せば、もう十年以上、編集委員を続けましたが私は決して良い委員ではない事を自覚しています。支所の「やさかだより」担当の皆様には、至らないところをフォローしていただき、大変お世話になりました。そんな私ですが、編集委員会に参加することで、それまで全く知らなかった、というか興味すら持ってこなかった、各地区で行われている伝統的行事の存在や、知られざる名勝の存在を知ることができたり、各地区が抱えている問題などを知る事ができたり貴重な経験ができたと感じています。これまでも一緒に活動してきた編集委員の皆様、取材、原稿の執筆に協力してくださった皆様方、本当にありがとうございました。新年度からは新しい編集委員会が発足します、どうか、より身近で分かりやすい話題満載の充実した「やさかだより」を発行してください、よろしくお願いたします。

やさかだより編集委員長 石原自治振興会

松下憲夫

編集委員を受けて早2年。八坂に越して来ては30年目になりました。この2年間の地区内の行事など記事にしてきたことを思い返すと、この30年間に変わったこと変わらなかつたこと、無くなったもの有り続けているもの、いろいろ思い返されてきました。これからも八坂の皆さんにお世話になりながら夫婦共々ここで生活していくと思います。今後ともよろしくお願いたします。時折掲載していただいた紙面汚しの4コマ漫画、おつきあいくださいありがとうございました。

切久保自治振興会 編集委員 立花康一